

地域フォーラム開催結果の概要について

1 開催概要

○全参加者数 226名

開催地	開催日時	開催場所	参加者数 (人)
青森市	8月31日(日)14:00～15:30	青森市民ホール	16
弘前市	8月30日(土)15:00～16:30	ベストウエスタンホテルニューシティ弘前	44
八戸市	8月28日(木)10:00～11:30	八戸グランドホテル	49
五所川原市	8月30日(土)10:00～11:30	ホテルサルート五所川原	18
十和田市	8月28日(木)10:00～12:00	富士屋グランドホテル	52
むつ市	8月28日(木)15:00～16:30	むつ来さまい館	47

2 意見等概要

(1) 意見・質問等の件数 意見 49件
 質問等 19件

(2) 主な意見とそれに対する対応状況

主な意見	対応(回答)状況
がん対策だけが記載されるのは意にそぐわない。	「安全・安心、健康分野」の政策施策のうち、「2 健康を支える地域医療サービスの充実」及び「3 子供を産み育てやすい環境づくり」において、がん対策以外の医療サービスについて記載しています。
男女共同参画という言葉が出てこない。	「Ⅶ 計画の推進に向けて」に「男女共同参画の推進」を位置づけることとします。
推進体制としてチェック機能は重要。審議会でチェックするだけでなく、4分野、地域別それぞれで委員会を立ち上げ、より多くの人から意見を聞くことも必要。	今後の具体的な推進体制検討の際の参考とします。

○地域フォーラムでの意見・質疑一覧表【意見】

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
1	三八	全県(産業・雇用)	II 2030年における青森県のめざすべき姿	産業・雇用分野の2030年のめざす姿の青森の強みとして、「食」と「エネルギー」だけでなく、「自然」というものも加えるべきである。	アンケート調査の結果等でも、本県の強みとして「自然」があげられているが、この項は産業・雇用を考えたものであるため、観光という切り口では関係はあるが、「自然」は入っていない。	記載済み。	「産業・雇用分野」のめざす姿に国際的な強みとして「自然」について記載
2	西北	全県(産業・雇用)	II 2030年における青森県のめざすべき姿	①原子力施設のメンテナンスの作業というのは、被爆を伴う作業であるが、それについてどのように考えるのか。 ②また、最終処分場が決まっていないことを考えると、エネルギーは本県において強みではなく、ウィークポイントであると考えますが、どう思うか。	意見として承る。	①原子力産業については安全性を最重視しながら発展させていくこととしている。 ②原子力のみならず、多彩なエネルギー産業の先進地として強みがあると考えている。	①②「産業・雇用分野」のめざす姿及び政策施策のうち、3-(1)、(2)、(3)に記載
3	三八	全県(産業・雇用)	V 政策・施策体系及び取組	高齢化という視点をもっと明確にして欲しい。特に高齢者を労働力として積極的に活用するという視点を加えるべきだ。	教育、人づくり分野の「青森の今をつくる人財の育成」の中で、地域づくり活動等にシニアパワーの活用を推進するという取組がでている。(これに対して、地域づくりだけでなく、もっと雇用にという追加の意見あり)	記載済み。	雇用面に対しては、「教育、人づくり分野」の政策施策のうち、2-(5)に記載
4	東青	全県(産業・雇用)	V 政策・施策体系及び取組	農業に「地産地消」の考え方を出してはどうか。	今回の計画では、「域内循環」ということを強く意識している。	記載済み。	「産業・雇用分野」の政策施策のうち、2-(1)に記載
5	東青	全県(産業・雇用)	V 政策・施策体系及び取組	海外との交流やグローバル化の視点が欲しい。		記載済み。	「産業・雇用分野」のめざす姿及び「産業・雇用分野」の政策施策のうち、1-(3)、4-(4)等に記載
6	メール	全県(産業・雇用)	V 政策・施策体系及び取組	【雇用創出や経済活性化のための積極的な企業誘致について】 三八地域は、産業が発達しており、交通体系も港・空港・高速道路、更に新幹線と整備が図られている地域。また、インテリジェントプラザや桔梗野工業団地、八戸ポートアイランドといつでも企業の進出を招致できるような環境を整えている。新しく創業するのは今後も続けて行きながら、既存で優秀な企業もあるため伸ばしていただきたい。また、大きな製造業も一つ誘致すればそれに付随した事業も展開されることと思う。土地購入や税金などを安くし長期的に企業が定着するような施策をお願いするとともに、更なる努力をお願いしたい。		記載済み。	「産業・雇用分野」の政策施策のうち、1-(1)、(2)に記載、また、三八地域の取組としては、「三八地域・地域別計画」の4-(2)に記載

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
7	中南	全県(安全・安心、健康)	V 政策・施策体系及び取組	がん対策に関する県の考えは大変よくわかったが、医療面では子どもを産む場所がない等様々な問題があるので、がん対策だけがここに書かれるのは、意に沿わない。	意見として承る。	がん以外の対策についても記載済み。	「安全・安心、健康分野」の政策施策のうち、2及び3-(3)に記載
8	東青	全県(安全・安心、健康)	V 政策・施策体系及び取組	DV対策を明確にして欲しい。市町村へ事業をおろしているようだが、市町村側の対応が整っていないこともある、県としてやって欲しい。	DV対策については、安全・安心、健康分野の誰もが安心して暮らせる環境づくりに主な取組として記載している。	記載済み。	「安全・安心、健康分野」の政策施策のうち、4-(1)に記載
9	東青	全県(教育、人づくり)	V 政策・施策体系及び取組	認定農業者確保対策や家族経営協定の推進について記載して欲しい。	教育、人づくり分野で記載済み	記載済み。	「教育、人づくり分野」の政策施策のうち、2-(2)に記載
10	中南	全県(教育、人づくり)	その他	人財に関し、社会が期待する人間をつくるのではなく、青森県に生まれてよかったと思ひ、その結果青森県を信じるというような人間をつくる政策であって欲しい。いきいきと生きていける社会をどう描いていくのかを支援する計画であって欲しい。人権教育という言葉を使いたいがまだまだ脆弱なので、男女共同参画ということで頑張って欲しい。	青森県を愛着を持って、というところは、まさに審議会でもそういう子どもを育てるべきだという検討を十分踏まえて記述している。	事務局の説明ですとする。	
11	上北	全県(その他)	II 2030年における青森県のめざすべき姿	計画は達成可能なことを書くべき。「夢」というのは達成できなくてもいいもの。生活創造推進プランでも「暮らしやすさのトップランナーをめざして」というキャッチフレーズを付けているが、各指標を見ると、青森県は最下位から探した方がいいくらい。青森県において、農業政策と原子力政策は絶対共存できないと思っているが、それをくっつけようとするから、無理のある文言が出てくる。上北地域には米軍基地や再処理工場がある中で、安全・安心ということを県外の消費者に言えるのか。根本的なところから議論しないと作文をつくって終わりになる。	審議会では、「夢」は実現しなくてもいいものということではなく、食料、地球環境といった大きな環境変化の中で、過去の延長で将来を描くのではなく、青森県が持っている資源を生かせばどういう将来像を描けるのか、また、「暮らしやすさのトップランナー」というキャッチフレーズがわかりにくいという意見も踏まえ、各分野でどういう姿をめざすのか、少しイメージできるようにする、といった観点から議論が行われ、青森県にある自分たちの良さをどう生かして生きていくのか、という将来の姿を描き、そこに向けてこの5年間の取組を考えよう、という流れで検討が進められてきたものである。	事務局の説明ですとする。	
12	中南	全県(その他)	II 2030年における青森県のめざすべき姿	概要版だと将来像がわかりにくいので、ビジュアルなど工夫してわかりやすくし、県民が基本計画を共有し、めざしていけるようにして欲しい。	計画策定後、冊子にするだけでなく、計画を県民に浸透させていく事業を展開したいと考えている。	事務局の説明ですとする。	
13	中南	全県(その他)	II 2030年における青森県のめざすべき姿	世代別の2030年のめざすべき姿があってもよいと思う。	非常に興味深い提案であるが、基本計画については様々な意見がある中、ある意味最大公約数的に作る部分も必要であることをご理解願いたい。基本計画策定後、各々の年代の方や産業に携わっている方などに、議論のよすがとしていただきたいと思う。	事務局の説明ですとする。	

地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
14 東青	全県(その他)	V 政策・施策 体系及び取組	(産業・雇用や生業といったものだけでなく)かゆいところに手が届く、というようなきめ細かなことをもっとやっていかないと県民に理解されないと思う。	基本計画は重点的に取り組む内容をまとめているので、ナショナル・ミニマム的な事柄は、記載が無くともきちんと責任を持って実施する。(素案を配布)	事務局の説明ですとする。	
15 三八	全県(その他)	VII 基本計画 の推進に向けて	推進体制としてチェック機能は重要だ。審議会でチェックするだけでなく、4分野、地域別それぞれで委員会を立ち上げ、より多くの人から意見を聞くことも必要だ。	チェックの方法は現在検討している。審議会の下に策定委員会・部会を設けているので、この部会の活用を考えたい。地域別計画については、地域県民局とも一緒に方法を考えたい。	推進体制検討の際の参考とする。	
16 東青	全県(その他)	VII 基本計画 の推進に向けて	財政状況が厳しいこともあり、2～3年で県から市町村へ事業等をおろしたものが打ち切られることもある。必要なお金をどう確保するのか。	計画に記載されていないと、県が実施すべきことは、従来通り責任をもって実施する。行財政改革に対する取組の中で、戦略キーワードをによる重点化を推進するための経費は確保している。	事務局の説明ですとする。	
17 東青	全県(教育、 人づくり)	V 政策・施策 体系及び取組	男女共同参画の語がない。 ワーク・ライフ・バランスではなく、男女共同参画という言葉を使うべきである。	担当課とも協議をし、調整する。	「VII計画の推進に向けて」に位置づける。	
18 三八	全県(その他)	その他	男女共同参画という言葉が出てこない。	今のところ「ワーク・ライフ・バランス」という考え方に取り込んでいるが、言葉自体が重要だという意見もあるため調整している。	「VII計画の推進に向けて」に位置づける。	
19 中南	全県(その他)	その他	青少年・男女共同参画課からは、「男女共同参画」を入れて欲しいと要望したが認められなかったと聞いている。ワーク・ライフ・バランスは、男女共同参画の一部だが、男女共同参画を代替するものではない。 男女共同参画とは、総合行政であり県政全般に関わる理念なので、計画においては施策の一部に留まらないと思う。計画の目的のところから全てに男女共同参画という視点を入れていただくように検討していただきたい。	青少年・男女共同参画課とのやりとりについて、各々の解釈の仕方があったのかもしれないが、この件に関しては再度青少年・男女共同参画課とも相談することとした。	「VII計画の推進に向けて」に位置づける。	
20 中南	全県(その他)	その他	いろいろな分野においても、男性と女性が力を合わせて一生懸命やっている。男性と女性がそれぞれ尊重しつつ、対等・平等な立場で一生懸命頑張っ、お互いに幸せになっていくという社会作りが必要であり、男女共同参画が不可欠だと思う。 男女共同参画には、障害者や高齢者の人権を保障するという理念もあり、女性の利益拡大のみを目指すものではない。そのような誤解を払拭するためにも、基本計画の中に盛り込んで、共有していただき、一人ひとりが大事にされながら、青森県で豊かで充実した生活が送れるようにしたい。	意見として承る。	「VII計画の推進に向けて」に位置づける。	

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
21	三八	全県(その他)	その他	八戸市に県立スケート場が必要である。スケート場は避けては通れない八戸市民の将来の夢である。スケート場が無いと、青森県民であるという思いも生じてこない。		青森県行財政改革大綱一次素案にあるとおり、「新たな大規模施設の整備については、財政健全化の見通しが立つまでの間、必要に応じて、将来に向けた検討・議論を実施」していくものであり、計画に位置づけることにはなじまないと考えている。	「行財政改革大綱第一次素案」第2-Ⅲ-2-1(1)-イに大規模施設に対する考え方が記載されている
22	三八	全県(その他)	その他	太宰治ばかりが扱われている、ぜひ三浦哲郎も同じように扱っていただきたい。		実施段階で参考にするよう県に求める。	
23	上北	全県(その他)	その他	農業問題と原子力問題について、現実には置かれている県の財政事情を真剣に考えた場合、危険とか不安という原子力の問題も、安心な状態で導入することはやぶさかではないと思う。		意見として拝聴する。	
24	上北	全県(その他)	その他	素案の表現等はいいと思うが、問題は、来年度の予算にどう反映されるか。実りある計画となるよう一層の努力をお願いしたい。		意見として拝聴する。	
25	上北	全県(その他)	その他	今日の資料は概要版のダイジェストで、これだけではみんな聞くのが精いっぱい理解できない。本来のフォーラムの目的として、県民に理解させるためには、一つ一つの施策を説明し、意見交換をしなければいけない。キャッチフレーズだけではポイントが浮かび上がるだけで裏付けとなるものが何も残らない。	全体的な作業スケジュールの中で、今回、こうした形で開催したものであり、御理解をいただきたい。	事務局の説明で了とする。	
26	上北	全県(その他)	その他	本来、地域フォーラムでは、素案を策定した委員が説明しなければいけない。策定委員長と対話する機会をつくるのかどうかをお聞きしたい。	そういった御意見があったことを審議会及び策定委員会に伝える。	この地域フォーラムは、総合計画審議会が取りまとめた素案について、今後、答申の策定に向けて、県民の方々の意見をお聞きするため、全体的な作業スケジュールも勘案の上、事務局である県が開催したものである。出席者の方々からの意見は、事務局から審議会にきちんと伝えられており、今後、ご提案のあったような機会を新たに設ける予定はない。	
27	中南	全県(その他)	その他	何事においても意識向上が大切である。性別にかかわらず生きていけるように、意識を高めるような計画づくりでないといけないと思う。今の素案を見ると、雇用、医療、がんなど、目先のキーワードをあげているように見える。	「雇用が目先のこと・・・」について、自立意識の高いご発言をされる方がいることに敬意を表したい。まさに、生活創造社会とは、自立する心を基礎としているので、このような方がどんどん輩出されればよいと思う。なお、4月に実施した県民1万人アンケート結果を詳細に分析した結果、一番望んでいるのが産業・雇用であった。	事務局の説明で了とする。	
28	中南	全県(その他)	その他	(アンケート結果の説明に対して) 統計上の数字だけで判断してはいけないと思う。余裕のない生活の中での数字であって、その数字が正しく出ているのだろうか。	意見として承る。	意見として拝聴する。	

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
29	中南	全県(その他)	その他	アンケートだけで物事を決めるといのはおかしい。アンケートで「産業」だから「生業」づくりに取り組む」という理由はおかしい。	県民意識調査のほか、各界・各層を代表する方々が委員となっている総合計画審議会において審議している。 働く場がなくてどうして豊かな生活が送れるのかという声もあることを我々も重く受け止めているということをご認識いただきたい。	事務局の説明ですとする。	
30	中南	全県(その他)	その他	県主導でやるのではなく、県民一人ひとりにこういうことをして欲しいという観点をに入れて欲しい。県に頼りきりになるのではなく、県民一人ひとりがどう行動すればよいか考えられるような計画にして欲しい。	次期計画でめざす「生業(なりわい)」づくりに尽きる。自主自立の気概を持って、自分の生業づくり、地域づくりに参加するんだと県民が声をあげるようになって欲しい。	事務局の説明ですとする。	
31	中南	全県(その他)	その他	青森県に借金はあるのか、またその金額はいくらか。借金がある中で、2030年の未来を描いても全く見えてこない。	3,970億円程度の財源不足額が見込まれており、行財政改革大綱を策定して解消しようとしている(と聞いている)。全国を見ても、東京都及び愛知県以外の道府県においては、平成21年度に基金が枯渇すると見込まれている状況。財政だけで2030年の姿が描けないということはないと考える。	事務局の説明ですとする。	
32	中南	全県(その他)	その他	地域フォーラムについて、定員を50名と限定した理由と周知方法を教えて欲しい。もっと県民の声にならない声を拾い上げるように工夫する必要があるのではないか。計画策定後は、情報を公開するだけではなく、もっと情報を広く県民一人ひとりに知らせるように今後も検討していただきたい。そうしないことには、産業優先、経済優先と目先のことだけになってしまうと思う。	会場の都合もあり、一応定員を示したが、多くの県民の方に参加していただきたいので、定員を超えたとしても対応する心積もりであった。周知については、県が持っている広報手段はもとより、コンビニ等にチラシを置くなど様々な所に働きかけている。なお、西北は18名、三八、上北、下北は約50名が参加した。 県が持っている広報手段等を通じて、できるだけのコストパフォーマンスのよい形で県民に周知したいと考えている。	推進体制検討の際の参考にする。	
33	中南	全県(その他)	その他	一次産業を基盤としている他県とほぼ同じような計画に見え、違う点は、原子力と男女共同参画に関する記述の有無のみに見える。計画自体に新鮮さを感じられず、政治の公約のように見える。10数年前から同じようなことを掲げてきており、今まであまり検証していないのではないかと思う。新鮮さがないのは、計画に関わった人に若さを感じられないからかもしれない。いずれにせよ、郷土の発展を心から願っている。	意見として承る。	意見として拝聴する。 なお、次期基本計画を策定するにあたり、現況やこれまでの取組状況を検証しつつ今後の課題や施策の展開方向を明らかにする総合フォローアップを行っている。	平成20年7月15日公表 (http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kikaku/kikaku/files/2-followup.pdf 参照)
34	東青	全県(その他)	その他	あおもり型セーフティネットや生業づくりという視点は面白い、青森県の特徴的な取組だと思う。	意見として承る。	意見として拝聴する。	

地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考	
35	メール	全県(その他)	その他	<p>【県内の雇用環境の改善】 雇用環境の改善は、働くものにとって大変重要なことであり、この会社で一生働きたい、青森県で働きたいと思うことの一つでもある。 ①優秀な人材を県内に留めて置くためには、賃金も一つの選択肢。高校・大学卒業の新卒者やUターンで帰ってきた人が首都圏に目を向けないためにも労働組合が取り組むのはもとより、会社の理解や行政の対応も必要。少しでも格差が縮まるように中央審議会で決定される上限を毎年採択するようお願いしたい。 ②最近仕事より家庭や自分の時間を大切にしている傾向が強く、ワーク・ライフ・バランスが求められている中、有給の取得など法律で決められていることは、最低限守れるように大企業は当然のことながら、中小企業にも行政からも指導をしていただきたい。</p>		<p>①、②のいずれも、国の所管であり、県での対応は困難であると考えられる。 なお、ワーク・ライフ・バランスの実現については、記載済みである。</p>	「教育、人づくり分野」の政策施策のうち、2-(5)に記載
36	東青	地域別	VI 地域別計画(全体)	地域別編に生き方のような視点が無い。価値観をのせるべきではないか。男女共同参画の観点からの記述が必要だ。	地域別編は、生業づくりを中心にまとめている。それ以外は全県編で扱うこととしている。	事務局の説明ですとする。	
37	中南	地域別	VI 地域別計画(全体)	地域の連携等は非常に難しいと思うが、県としてのどのような支援(後押し)をするのか。	地域別計画検討委員会は、地域の各産業に携わっている方、各分野で活躍していただける方、構成市町村の企画担当課長などがメンバーとなっている。今回、初めて地域の人の手によって作りあげた地域別計画である。県の支援としては、地域県民局地域連携部を中心に一定程度の重点枠(予定)を活用し、地域に最もふさわしく、効果のある事業を展開したいと考えている。	事務局の説明ですとする。	
38	下北	地域別	VI 地域別計画(全体)	地域別計画の地域と、県民局の地域は別だというのは分かるが、実際計画を実施するとなったときに、どこが核になってやっていくのかというのは非常に大事なのでは。	大変大事な視点だと思うので、そういう意見があったということは知事に伝える。	事務局の説明ですとする。	
39	下北	地域別	VI 地域別計画(全体)	地域別計画を実施するに当たって、各市町村も関わってくると思うが、各市町村の担当の窓口だけでなく、他の職員にも県が何をやりたいのかということを知ってほしい。県民がこれに基づいて何かをやるようとする際に、市町村まで浸透していなければ、県民が不信感を持つことになりかねない。	素案の段階から、各市町村の方にも議論に入ってもらっているが、最終的に計画が完成した時には、市町村、県民、関係団体・企業等にいろんな形で周知を図っていく。進化する計画ということで、毎年プロモーション編を作成するので、皆さんの頭の中に県の基本計画があるというようにしていきたい。	実施段階で参考にしよう県に求める。	

地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考	
40	メール	地域別	VI 地域別計画(三八)	三八地域では、県議会、市議会の超党派議員で県南施設にスケートリンクが良いのか芸術パークが良いのか検討がなされ、スケートリンクを設置することで方向性を確認している。屋内スケートリンクは、ただ屋内であれば良いわけではなく、八戸駅からの交通アクセスや高速道路からの交通アクセス、国道からの交通アクセスの整備も実施しなければならない。 また、国際的な大会や国内の大会を開催することで、中心商店街や宿泊施設などの活性化も図られる。屋内スケートリンクは、スケートリンクだけの活用ではなく、体育競技やボール競技、コンサート会場、イベントなど多目的なホールとしても活用できるような施設が年中使用でき有効。 県財政が圧迫しているのは承知しているが、近いうちに凍結を解除して検討をし、県南地域の住民に伝えていただきたい。		青森県行財政改革大綱一次素案にあるとおり、「新たな大規模施設の整備については、財政健全化の見通しが立つまでの間、必要に応じて、将来に向けた検討・議論を実施」していくものであり、計画に位置づけることにはなじまないと考えている。	「行財政改革大綱第一次素案」第2-Ⅲ-2-1(1)-イに大規模施設に対する考え方が記載されている
41	西北	地域別	VI 地域別計画(西北)	西北地域の地域別計画は非常によいと思うし、特に産業と環境の関係の取組がよいと思う。 その場合に、じゃまになるのは六ヶ所の施設。直線距離で75kmしかなく、何か事故があった場合、ヤマセにのってすぐに汚染される。 六ヶ所の計画の中止について、計画に記載することも検討してほしい。	様々のご意見を持つ方々がいると思うが、その中の意見のひとつとして承る。	原子力産業については安全性を最重視しながら発展させていくこととしている。	「産業・雇用分野」の政策施策のうち、3-(1)に記載
42	西北	地域別	VI 地域別計画(西北)	「じゃわめく」は年配の世代だと、「うるさい」「さわがしい」という意味で使われることが多く、個人的にはあまり良い印象はない。 良い意味で使うのであれば、別にかまわないのだが。	農林水産業と観光が連携したい良い意味での「ざわめき」と人がたくさん集まってきてがやがや賑わっている状態を合わせて「じゃわめく」という言葉を採用した。 「のれそれ」も検討したが、悪い意味で使われることもあることや、五所川原のイメージが強くなることもあって採用しなかった。 地域別計画は、地域の方々が集まって、それぞれの地域のために検討していただいたものなので、できるだけ尊重していきたいと考えている。	事務局の説明で了とする。	

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
43	西北	地域別	VI 地域別計画(西北)	自分は農業をやっているが、農業をやめたら働く場所もないので、死ぬまでやるつもり。しかし、若い人は農業をやらなくなっている。もう少し農業でやっていけるということや、あるいは別に働く場があるような状態にしていればと思う。もしくは、農業でどれくらい食べていけるのかを示していただけたら。	農業に関しては戦後一貫して県の基幹産業という位置づけでやってきた。西北地域は農業が特に大きいので、県内6地域で最も影響が顕著である。 「食」の安全・安心が求められているが、それ以前に海外から食料が調達できる状態が続くのか疑問。 県全体の食料自給率は118%だし、バランスも良い。食料供給基地から食料戦略基地になれるのではないかと。 だが、長期的な明るさ以前の、明日の後継者をどうするかが問題。一定の所得をどう稼いでいくのかの道筋をつけるように、県の農林水産部もいろいろと検討している。 また、人づくりでも、青森の今を支える人材の育成で、農業経営体について1本かかっている。 具体化する動きもあり、計画としても農林水産部としても重く受け止めている。	事務局の説明ですとする。	
44	上北	地域別	VI 地域別計画(上北)	広域市町村圏計画でも第1章に産業のことを書いており、市町村長はみんな産業をどうしていこうかということを考えている。生業を強調されると、上十三の市町村が産業のことを考えていないようなイメージも受ける。地域別計画と市町村圏計画がリンクするように、重複したりしないようにしてほしい。	ともに同じ方向を見て、その地域を良くしていこうということで、県がやるべきこと、市町村がやるべきこと、地域の方々にやっていただかないといけないこと、そういった相互の役割分担も考えながら具体的な取組を展開していくことになると考えている。	事務局の説明ですとする。	
45	上北	地域別	VI 地域別計画(上北)	エネルギーについて、どういうイメージでエネルギーと表現しているのか。 米軍基地や原子力施設がありながら安全・安心を求めるというのは無理がある。農業と原子力政策が共存できるという前提で計画をつくるのか。共存し得ない2つの政策を計画に織り込むこと自体に無理がある。	審議会では、エネルギーとは多彩なエネルギーを対象とし、原子力施設の立地を契機に産業振興をきちんと図っていくことを計画に明記することとしている。また、将来像や施策にも出てきているとおり、今回は、農業はもちろんのこと、製造業、販売、流通も含めて食という切り口で大きな産業振興を図っていく、ということを確認している。	事務局の説明ですとする。	
46	下北	地域別	VI 地域別計画(下北)	「豊饒の里海」というのは大変すばらしい文言だと思うが、三方を海に囲まれているという特長をもっと出していく必要があるのではないかと。下北には国の海洋開発機構むつ研究所なども設置されており、むつ市では海洋研究都市をめざしている。自治体がめざすものを汲みとって、県がそれを伸ばしていくような具体的な施策を示してほしい。	具体的な事業展開としては、計画の中に方向性を示した上で、毎年実施する事業ということで具体化が図られていくことになる。今いただいた意見については、審議会に伝える。 今回の説明は、概要ということで細かな点まで説明できなかったが、挙げていただいた施設については、固有名詞ではないが素案の本文で触れており、産業振興に活用していけないかという方向性について記載をしている。	記載済み。	地域別計画(下北地域)の「地域の特性と課題」、「今後5年間の取組の展開方向と重点施策」の中に方向性を記載

地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
47	下北	地域別	VI 地域別計画(下北) 新幹線効果という話があったが、新幹線は人も呼ぶが、ストロー効果もあるということをふまえて実施してほしい。 農家レストランという話もあったが、下北には非常に良い素材がある。点を線にしていく取組が必要。その中で下北の最大の問題はアクセス面。仮に七戸駅から下北駅までお客さんを運んだとしても、それらの方を下北半島でどう回していくかということ、バス事業者なり関係者と協議して実施していく必要がある。そういった点について、どの程度までつめられているのかお聞きしたい。	・戦略キーワードの説明の中で、例示として新幹線開業効果や農家レストランという話をしたが、現段階ではそれはあくまでも例示であり、具体的にそれをやっていくことを決めているわけではない。アクセスや地域内の周遊ということについては、今後計画を実施していく際に地域県民局が核になり具体的に検討していくべきもの。 ・二次交通については、現計画の中でも事業者等と協議している段階。次期計画でもより発展させて取り組んでいきたい。	事務局の説明ですとする。	
48	下北	地域別	VI 地域別計画(下北) 三八、上北、下北のそれぞれにエネルギーというものが出ているが、地域別にどのようなエネルギーが特徴かというのを打ち出していけばもっと地域別の違いが分かりやすくなるのではないか。	三八は、再生可能エネルギー、環境エネルギー 上北は、風力発電施設、原子燃料サイクル施設、国際熱核融合、次世代エネルギーパーク 下北は、風力発電施設、原子力発電施設 について記載	記載済み。	それぞれの地域別計画にエネルギーの内容を記載
			立派な計画で非の打ち所がない素案であると思う。 ただ、これを実際に実施していくことについて、青森県内は、文化圏として津軽、南部のほか、津軽でも南部でもない下北というものが第三極として存在している。 これまでの計画では、下北地域は取り残されてきている。県の施策が均等に津軽、南部、下北になされずに、下北に対しては薄かったと思う。 下北の安全を考えた場合でも、原子力半島とも言われており、避難道というのは不可欠。そう考えれば下北縦貫道も整備を進める必要があるが、遅々として進んでいない。現在のままラインも波打っていて危険だし、JR大湊線も風が吹けばすぐ止まる。			

	地域	分野 (リストから選択)	対象項目 (リストから選択)	意見	フォーラムにおける事務局対応状況	意見に対する策定委員会としての処理方針(案)	備考
49	下北	地域別	VI 地域別計画(下北)	<p>また、ラ、県では縄文の世界遺産登録をめざし取り組んでいるが、三内丸山に肩を並べるような規模が見込まれる二枚橋遺跡など、下北こそ遺跡の宝庫であり、北海道と三内丸山などをつなぐ重要な地であるのに、金をかけて調査をしていないので、世界遺産登録をめざす遺跡群の一端にも入っていない。</p> <p>そういった意味でも、下北に夢を与える取組をしてほしい。</p> <p>下北の教育、人づくり、安全といったものが欠けているのではないかと感じる。県立の施設も少ないし、学校設備も貧弱なのが現状。</p> <p>計画を実施するに当たっては、こういったことを言える人材は下北に沢山いるので、委員として選任して意見を反映させ、他の地域と同じように平等に進めていってほしい。</p> <p>素案に対する意見ではなく、実施に対する意見。</p>		実施段階で参考にしよう県に求める。	